



7 屏風と襖絵
— 安土桃山・江戸



(左隻)

3/22 水 - 4/23 日

桃源仙境図屏風
福田半香筆 江戸時代・安政2年(1855)
広がる桃源郷の平和な光景、仮想体験の旅に出かけてみませんか?

(右隻)



3/22 水 - 4/23 日

桜山吹図屏風
俵屋宗達筆 江戸時代・17世紀
田沢房太郎氏寄贈
桜と山吹が奏でる春の景。色面による大胆な画面構成が魅力的です

4/25 火 - 5/28 日

増補地味付蓮図水指
伊万里
江戸時代・17世紀
瀟洒な趣が何ともし心惜い、初期伊万里の代表作です



4/16 日

枝垂桜時鐘簪
江戸時代・17世紀
広田松繁氏寄贈
枝葉を巧みに配し、一本の枝垂桜で器表を覆うようなデザインです



8 - 1 暮らしの調度

— 安土桃山・江戸

5/9 火 - 7/30 日

4/18 火 - 5/7 日

特集
「平成29年新指定 国宝・重要文化財」
主催：文化庁、東京国立博物館

本館 7 室
屏風と襖絵
— 安土桃山・江戸

本館 8 室
暮らしの調度
— 安土桃山・江戸

本館 8 室
書画の展開
— 安土桃山・江戸

8 - 2 書画の展開

— 安土桃山・江戸

3/22 水 - 4/16 日

4/18 火 - 5/7 日

特集
「平成29年新指定 国宝・重要文化財」
主催：文化庁、東京国立博物館



9 能と歌舞伎

— 4/16 日

謡曲「春日龍神」をテーマに、江戸時代の能面・能装束を中心に展示します。

狩衣
紺地雲龍丸模様
江戸時代・18世紀
龍の模様を織り出した華やかな金襴の狩衣です



4/18 火 - 5/7 日

5/9 火 - 6/25 日

日本書紀注釈
後園成天皇筆
安土桃山～江戸時代・17世紀 太田松子氏寄贈
天皇の好学を示す古典研究ノートの一葉です

4/18 火 - 6/11 日

舞楽装束 貴徳(補綴)
江戸時代・19世紀
走舞の裾裾は獣毛のような華やかな毛織がついた男仕な姿です



4/16 日

春の訪れが感じられる花の模様や、江戸時代の増礼衣裳を中心に紹介します。

小袖 茶平絹地梅枝垂掛軸模様の
江戸時代・18世紀
雛形本にも掲載されるデザイン。友伴染の優品です



4/18 火 - 6/11 日

藤・牡丹・桐など、春の終わりに初夏にかけて咲く花の模様や風景のきものを展示します。

小袖 茶平絹地四季新作物風景模様の
江戸時代・19世紀
一領のきもに友伴染で染めた田植えや稲刈りなど四季折々の農耕風景



5 6 武士の装い

— 平安～江戸

6/4 日

◎太刀 無銘 大和物(号 獅子王)
平安時代・12世紀
号の由来は不明ですが、刀身とその刀装が古くから伝わったことは貴重です

◎黒漆太刀(◎太刀 無銘 大和物(号 獅子王)の格)
鎌倉時代・13～14世紀



本館 6 室
武士の装い
— 平安～江戸

ラウンジ

本館 5 室
武士の装い
— 平安～江戸

総合文化展 | 見どころ案内

本館 2 階

4月・5月

今日のおススメ

日本美術の流れ

縄文から江戸まで、ほんものでたどる日本美術史

マークの作品は、スマートフォン向けアプリ「トーハクナビ」で音声ガイドをお楽しみいただけます。



特別2室

1F

1F

1F

1F

本館 10 室
浮世絵と衣裳
— 江戸

本館 1 室
日本美術のあけぼの
— 縄文・弥生・古墳

本館 13 室
仏教の興隆
— 飛鳥・奈良

本館 2 室
国宝室

10 浮世絵と衣裳 — 江戸

【浮世絵】

3/22 水 - 4/16 日

桜や山吹など春の花を描いた浮世絵でお花見を!

北藤月の夜桜
歌川国貞(三代豊国)筆
江戸時代・19世紀
吉原大門から、メインストリート仲町之町の夜桜を望む江戸の粋



4/18 火 - 5/14 日

金太郎 勝川春英筆
江戸時代・18世紀
子供の健やかな成長を金太郎に託した元気で明るい作品です



5/16 火 - 6/11 日

初夏らしい浮世絵とめずらしい企画の掛軸版画作品を展示します。

◎東郷・中村仲威 勝川春章筆
江戸時代・18世紀
忠臣蔵の奔定九郎(おのさだくろう)を演じる中村仲威が似顔で描かれています



4 茶の美術

3/22 水 - 6/11 日

志野茶碗 銘 振袖 美濃
安土桃山～江戸時代
16～17世紀
口縁が緩やかに起伏をなし、細く柔らかな筆致の鉄絵が特徴的です

加藤石香舎 伊賀
江戸時代・17世紀
寺院建築の柱の下に置く礎石の形を模した香舎。素朴な中に力強さが漂います



本館 4 室
茶の美術

3 - 3 禅と水墨画

— 鎌倉～室町

3/22 水 - 4/23 日

法語
雲山道隱筆
鎌倉時代・正中2年(1325)
14世紀に來日した中国人禅僧が説いた禅の教えを本人が書いたもの

四季花鳥図屏風
狩野元信筆
室町時代・16世紀
個人蔵
元信による花鳥図屏風の名品。生き生きとした鳥の動きにご注目!



3 - 2 宮廷の美術

— 平安～室町

4/25 火 - 5/28 日

馬医草紙
鎌倉時代・文永4年(1267)
世にも稀な馬の医者の秘伝書で、過去の名馬や薬草などを描きます



1 - 1 日本美術のあけぼの

— 縄文・弥生・古墳

7/17 月・祝

◎埴輪 横 伝茨城県行方市沖洲
大日塚古墳出土 古墳時代・6世紀
背中の子猿を氣遣う母猿の姿を表した、愛らしい埴輪です

金銅装束底付青
福井県永平寺町
二本松山古墳出土
古墳時代・5世紀
野球帽のように半月形の庇がつく鉄製青。古墳時代の冑の中でも華麗な一品

装束模文銅鐙(三連式)
静岡県浜松市北区
細江町中川(馬ヶ谷)出土
弥生時代(後期)・1～3世紀
鹿と水鳥を描いた大きくて華麗な銅鐙です



2 国宝室

5/9 火 - 6/4 日

◎法華経巻第一(浅草寺経)

平安時代・11世紀
華麗で繊細な平安時代後期の装飾経。この時代を代表する優品です



3 - 1 仏教の美術

— 平安～室町

3/22 水 - 4/23 日

報恩経 伝鳥養筆 奈良時代・8世紀
すべての人々を救済する救済の行いを説いた経典を、細字で上下2段に書いたものです



3/22 水 - 4/23 日

◎准胝観音像
平安時代・12世紀
田中親実氏寄贈
平安仏画の美しさと鎌倉仏画の力強さを共に宿す点が魅力です

五輪文殊像
鎌倉時代・14世紀
松永安左工門氏寄贈
最後の茶人と言われた松永耳庵(安左工門)が茶会に用いた画像です

